廃木材よ…よみがえれ！！

廃木材には「マテリアルリサイクル」により与えられる使命がまだあります。

廃木材の利活用、このままでいいのでしょうか？

現在、廃木材の利活用について議論される際に、常に話題の中心になるのがバイオマス発電を中心とした「エネルギー利用」です。再利用することが出来ない廃棄物をエネルギーに還元することは非常に有効な活用法であると言えます。

しかし、「エネルギー利用」する前に、今一度考え直して下さい。

その廃木材は「マテリアルリサイクル」が出来るのではないでしょうか？
私達東京ボードグループは皆様とともに「マテリアルリサイクル」の手助けをさせていただきます。そして共にCO_2削減を図り、地球環境をより良いものへと改善していきましょう！
木々に永遠の命を与えたい…。それが東京ボードグループの使命です！！

私達は
地球温暖化防止に
全力で取り組みます

東京ボード工業株式会社
本社　〒136-0082　東京都江東区新木場2-11-1　TEL:03-3522-4138　FAX:03-3522-4137
新木場工場　〒136-0082　東京都江東区新木場2-12-5　TEL:03-3522-1524　FAX:03-3522-1525
埼玉工場　〒340-0835　埼玉県八潮市浮塚100番地　TEL:048-996-4541　FAX:048-996-4562
横浜エコロジー株式会社
〒236-0003　神奈川県横浜市金沢区幸浦1-4-2　TEL:045-778-1153　FAX:045-778-1154
ティー・ビー・ロジスティックス株式会社
〒340-0835　埼玉県八潮市浮塚100番地　TEL:048-994-1311　FAX:048-994-1315
TB関西物流株式会社
〒630-8452　奈良県奈良市北之庄西町1-6-11　TEL:0742-50-6222　FAX:0742-50-6667

「とうきょうさんぱい」　通巻第四〇一号　令和六年二月一日　発行人　鈴木宏和　発行　一般社団法人東京都産業資源循環協会

とうきょう さんぱい

第40巻第11号　通巻第401号
401
令和6年2月1日発行

新年のご挨拶

東京都産業資源循環協会　会長　**鈴 木 宏 和**
東京都　環境局長　**栗 岡 祥 一**

令和6年度 東京都予算に対する小池知事ヒアリング
破砕・圧縮分科会　DXに関する勉強会を開催
第19回 産業廃棄物と環境を考える全国大会（東京）
建設廃棄物委員会　一都三県建設混合廃棄物意見交換会を開催
安全衛生推進委員会　令和5年度 安全衛生標語コンクール 入選作品決定

一般社団法人 **東京都産業資源循環協会**

有明興業株式会社
ARIAKE KOUGYO CO.,LTD.

東京都 産廃エキスパート 中間処理業 収集運搬業

優良産廃処理業者認定制度
優良認定業者

IS 533201/JS Q 27001

●若洲工場：東京都江東区若洲2-8-25
●リサイクルポート：東京都江東区若洲2-8-17
●京浜島工場：東京都大田区京浜島3-3-14
●市原工場：千葉県市原市玉前西2-9-1
●八丈島事業所：東京都八丈島八丈町大賀郷8316-1

本社：〒136-0083 東京都江東区若洲2-8-25　TEL：03-3522-1911　FAX/03-3522-1919　http://www.aknet.co.jp/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2022 健康経営優良法人 Health and productivity
中間処理業 2020年度
収集運搬業（積替え保管含む）
産廃エキスパート
認定番号 5-20-C0001
認定番号 5-20-B0063

高俊興業株式会社　産業廃棄物処理業（収集運搬・中間処理）

本社　〒165-0026 東京都中野区新井一丁目11番2号　TEL. 03-3389-8111(代)　FAX. 03-3228-0842
市川エコ・プラント
〒272-0103 千葉県市川市本行徳1325番地62　TEL. 047-395-1878　FAX. 047-399-5362
東京臨海エコ・プラント
〒143-0002 東京都大田区城南島三丁目2番15号　TEL. 03-5755-8011　FAX. 03-5755-8010
高俊中央技術研究所
〒143-0002 東京都大田区城南島四丁目4番4号　TEL. 03-5755-2330　FAX. 03-5755-2332

とうきょうさんぱい　第401号

CONTENTS

新年のご挨拶
年頭にあたって
（一社）東京都産業資源循環協会　会長　鈴木宏和 ・・・・・ 2

持続可能な資源循環と適正な廃棄物処理の推進に向けて
東京都　環境局長　栗岡祥一 ・・・・・ 4

令和6年度 東京都予算に対する小池知事ヒアリング ・・・・・・・・・・ 6

中間処理委員会〈破砕・圧縮分科会〉
DXに関する勉強会を開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第19回 産業廃棄物と環境を考える全国大会（東京） ・・・・・・・・・ 10

建設廃棄物委員会
一都三県建設混合廃棄物意見交換会を開催 ・・・・・・・・・・・・・・・ 12

安全衛生推進委員会
（一社）東京都産業資源循環協会
令和5年度 安全衛生標語コンクール 入選作品決定 ・・・・・・・・ 14

人材確保プロジェクト　若手社員のためのスーパーエコタウン研修会 ・・・・・・・・・・ 17
女性部だより　第2回 全国女性部会のつどいが行われました ・・・・・・・・・・・・・・・ 22
理事会・委員会報告　中間処理委員会〈中和・脱水分科会〉、法制度検討委員会 ・・・・・・・ 24
身近なヒヤリ・ハット事例 Part 174 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
SDGsへの取組　目標14「海洋資源」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
産業資源循環情報［No.45］　加藤商事㈱｜当社の資源循環への取組 ・・・・・・・・・・ 28
協会の主な今後の日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
よろず相談［労務］　労働条件の明示ルールの改正について ・・・・・・・・・・・・・・・ 30
広告　㈱京葉興業（正会員） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
事務局だより・編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
表紙の言葉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
謹賀新年・各社名刺広告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
謹賀新年・事務局／広報委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

年頭にあたって

一般社団法人 東京都産業資源循環協会
会　　長　　鈴　木　宏　和

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年は秋の訪れが遅く、暮れも気温の高い日が続きました。皆様も気候の変化を実感されているのではないかと思いますが、懸念されるのは豪雨による水害など災害の頻発です。実際、昨年は梅雨時期の大雨や台風２号、台風１３号等により茨城や千葉など関東近県でも水害の被害があり、自治体からの要請を受け各県の協会が災害廃棄物の処理にあたりました。６月には関東地域協議会の１都７県で災害廃棄物処理の相互応援協定を締結しました。当協会においても災害廃棄物処理への協力体制の構築が急務です。

昨年９月、東京都は「災害廃棄物処理計画」を改定し、災害廃棄物処理における民間事業者との連携を打ち出しました。当協会にも連携を要請しています。これを受け、本年、当協会では都や区市町村と連携した災害廃棄物処理の協力体制の構築を進めてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

労働災害の問題も引き続き当業界の大きな課題です。都内の産業廃棄物処理業者の労働災害事故件数は、ここ数年、全国ワースト１位から３位ときわめて多い状況です。労働安全衛生を徹底し職場環境を改善することは人材確保、ひいては業界の将来にもつながります。当協会におきましても本年はこれまでにも増して労働安全衛生に力を入れ、研修の強化等を通じて現場で働く皆様の安全と健康の確保、魅力ある職場づくりを支援してまいります。

一方、国の動向に目を転じますと、いま国は循環経済への移行を強力に推進しています。昨年６月のＧ７気候・エネルギー・環境大臣会合で主要７か国は循環経済の実現に向け指針を採択しましたが、政府は中央環境審議会に「静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会」を設置して脱炭素型資源循環経済への移行を議論しています。本年６月には第五次循環型社会形成推進基本計画を策定する予定で、初めて資源循環経済への移行を明記し、資源循環関連ビジネスを現在の５０兆円から８０兆円に発展させる方針です。資源循環業界にとって飛躍の年となるものと期待しています。協会としましてもこの追い風を業界の発展につなげるよう取り組んでいきたいと思います。

結びにあたり、本年２０２４年が皆様にとってよりよき年となりますよう祈念申し上げ、また協会運営への会員各位のご支援をお願い申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

持続可能な資源循環と適正な廃棄物処理の推進に向けて

東 京 都　環 境 局 長
栗 岡 祥 一

明けましておめでとうございます。貴協会及び会員の皆様には、日頃より、東京都の資源循環・廃棄物行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、長きに及んだコロナ禍も転換点を迎えましたが、この間も、都民生活を支える廃棄物処理やリサイクルの継続に御尽力いただきましたことに、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

そして、私たちは今、気候危機という困難な課題に直面しています。東京都は、環境基本計画の中で、「エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現」を戦略の一つに掲げております。資源やエネルギーの大消費地である東京の責務として、大量消費型の資源利用のあり方を見直し、CO_2 削減にも大きく貢献する「サーキュラー・エコノミー」へと移行していくことが必要です。

このため、昨年度、東京都環境公社にサーキュラーエコノミー推進センターを立上げ、取組を進める企業の支援を開始しました。また、オフィスや商業施設から排出される廃プラスチックのマテリアルリサイクルを進めるため、収集運搬事業者、圧縮梱包やペレット化を行う処理業者と連携したモデル事業を展開する取組を進めております。

さらに、今後、サーキュラー・エコノミーへの移行を進めながら、人口減少などの社会構造の変化にも対応していくため、産業廃棄物処理業界における DX を促進していくことも必要であると考えており、貴協会の皆様方と連携を図りながら、先進技術導入の実証事業等にも取り組んでまいります。

また、近年、都内も含めた全国各地で台風や豪雨による被害が多数発生しております。これに対しまして、貴協会にも委員として御参加いただいている東京都廃棄物審議会で御審議いただき、昨年９月に「東京都災害廃棄物処理計画」を改定いたしました。貴協会とは、これまで地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定を締結するなど、多大な御協力をいただいています。引き続き、災害廃棄物の処理主体となる区市町村などとも密接な連携を図りながら取組を進めてまいります。

結びに、貴協会及び会員の皆様の益々の御発展と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和６年度 東京都予算に対する小池知事ヒアリング

東京都は例年東京都予算に関する業界団体等の要望を聞くため知事ヒアリングを実施している。今年当協会は 12 月８日㈮に、鈴木会長、細沼副会長、五十嵐副会長、鈴木専務理事の４名が出席し要望を行った。

（知事挨拶）

小池 知事： 東京都施策へのご協力ご理解誠にありがとうございます。産業廃棄物の適正処理の推進そして資源循環推進の普及啓発などを通じて循環型社会を構成する、そのためのご尽力をいただいている。改めて感謝申し上げる。

（要望事項の説明）

鈴木会長から、別紙要望書にそってリチウムイオン電池に関する啓発、災害廃棄物処理における迅速な資金供給、再生骨材コンクリートに係る東京都土木工事標準仕様書の変更、産業廃棄物処理業のＤＸに係る支援等６項目を説明した。

（東京都の回答）

小池 知事： サーキュラーエコノミーの実現に向け、静脈産業のDXを進め、処理の合理化、脱炭素化につなげていくことは重要。都として産業廃棄物業界のDXの促進に向けて取組を推進していく。

栗岡 環境局長： リチウムイオン電池について、廃棄時の火災等への対策が急務。講習会等で排出事業者等に啓発、リチウムイオン電池使用が分かりにくい製品について周知するなど取組強化を図る。

災害廃棄物について、迅速・円滑な処理には廃棄物関連事業者の協力は不可欠。迅速な処理委託契約、委託金の適正な時期の支払いなど、申請書類の作成支援などにより区市町村を後押しする。

山下 財務局長： 土木工事標準仕様書の再生骨材コンクリートについて、東京都土木工事標準仕様書でも国交省の基準に従って規定し、実態上の取扱いに差はないと認識。誤解が生じないように丁寧な説明に一層努めていく。

小池知事に要望書を手渡す鈴木会長と出席役員

（質疑応答）

細沼 副会長： 再生骨材コンクリートについて、国交省の規定には原則としてという言葉が入っているが東京都のほうには入っていない。原則という一文が入ればJIS工場以外からもだせる。その点共通の認識があればありがたい。

山下 財務局長： ご要望の趣旨はよく承知した。引き続き取扱について検討する。

鈴木 会長： リチウムイオン電池の件だが、分類としては一般廃棄物が多い。区市町村できちんと回収していただければ産業廃棄物への混入は緩和される。区市町村のほうにもよろしくお願いしたい。

栗岡 環境局長： 同じ問題意識を持っている。各区に働きかけて特別な回収ルートを作ってもらわないといけない。私どもから働きかけて、何区かこの一年で増えている。そういう区をどんどん増やして、ほかの物と混ざらないようしっかり進めたい。

５東産協第７６号
令和５年１２月８日

東京都知事
　小池　百合子　様

一般社団法人　東京都産業資源循環協会
会長　　鈴　木　　宏　和

令和６年度予算に関する要望書

１　リチウムイオン電池に関する啓発及び火災対策助成について

リチウムイオン電池による火災、小火が減る傾向にないため、引き続き粘り強く排出事業者への啓発に関して官民連携して取り組んでいただくとともに、令和４年に要望したが実現していない火災検知や消火設備の設置に関する助成金の創設を改めてご検討いただきたい。

２　災害廃棄物処理における処理業者への迅速な資金供給について

○　大規模災害時に廃棄物処理関連事業者が円滑に処理を進めるためには、廃棄物処理に要する資金を確保できることが重要である。特に資金負担力の乏しい中小規模の処理業者が増大する処理費用の支払いに対応できる資金供給が必要である。このため、区市町村が災害廃棄物処理を関連事業者へ委託する場合は、処理委託費を月毎の支払いとするよう、区市町村に対し要請されたい。

○　また、災害廃棄物処理に係る国補助金が交付されるまでの間、都は、区市町村に代わって処理委託費を立て替え払いする制度を設け、処理業者への資金供給を確保されたい。

３　建設汚泥、廃コンクリートの有価物該当性に係る審査について

再生品（建設汚泥再生品、コンクリート再生砕石）の有価物該当性に係る審査は（公財）産業廃棄物処理事業振興財団により行われているが、現在の審査費用は大変高額で、小ロットの現場では認証を取得するメリットが少なく、認証取得が進んでいない。

本年５月の盛土規制法の施行に伴い、今後、建設汚泥改良土については、認証取得を求められることが予測される。

令和２年の環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課長通知では都道府県等が審査を行えるとされていることから、東京都から排出される建設汚泥、廃コンクリートについては、有価物該当性に係る審査を東京都で行うよう検討されたい。

4　再生骨材コンクリート(RAC)に係る東京都土木工事標準仕様書の変更について

再生骨材コンクリート(RAC)の普及は、資源循環のみならず CO2 の削減策としても重要であるが、オリンピック工事において一部利用されたものの、その後はほとんど使用されていない。

RAC が普及しない一因として、東京都土木工事標準仕様書の規定が国の仕様書より厳しくなっていることがある。RAC の普及を図れるよう、仕様書の変更をお願いしたい。

5　産業廃棄物処理業のＤＸに係る支援について

産業廃棄物処理の合理化による ＣＯ２排出量削減・トレーサビリティ確保等に資するため、産業廃棄物処理業のＤＸに係る支援をお願いしたい。

東京都産業資源循環協会は、建設業界と連携して、建設廃棄物の取り扱いに関するデータ（種類別の排出量、処分先、処分方法、二次処分先など）について、排出現場から最終処分まで一元的に管理できるシステム、プラットフォームを製作することとしている。これを利用すれば ＣＯ２排出量のＳｃｏｐｅ３での算出も可能になる。このプラットフォーム製作への協力や経費の補助をお願いしたい。

6　労働災害防止の取組に対する財政支援について

東京都内の産業廃棄物処理業者の労働災害事故件数は、ここ数年、都道府県別でワースト１位～3 位と極めて多い。このため、

○　東京都産業資源循環協会や会員企業が行う労働災害防止事業（労働災害の防止用教材としての動画やアニメの作成・配布等）に対し財政支援をお願いしたい。

○　国は令和５年度から建設重機の安全装置等の購入に対し「高度安全機械等導入支援補助金」を交付しているが、同補助金の交付対象は「建設業許可を取得している」中小企業に限られ、産業廃棄物処理業許可業者は対象となっていない。労災事故が引き続き多発している産業廃棄物処理業許可業者においても同種の建設重機を使用していることから、産業廃棄物処理業許可業者に対しても同様の補助制度を設けていただきたい。

以上

中間処理委員会 破砕・圧縮分科会

DX に関する勉強会を開催

中間処理委員会 破砕・圧縮分科会（二木玲子 リーダー）は、令和 5 年 11 月 9 日㈭に、当協会賛助会員２社を講師とする、DX に関する勉強会を開催した。今回の勉強会は分科会メンバーに限定せず正会員にも参加を募り、受講者は 27 名であった。

各講師の会社が取り扱うサービスの導入をお考えの方は以下に連絡してください。

事務局長　木村 尊彦

1 「「配車頭」のサービスご案内と DX を成功させるための秘訣」

講師：ファンファーレ㈱　酒井 円 氏

配車頭では、乗務員の勤怠、受注情報、コンテナ数、車種を入力すると、配車表を自動作成します。いつでもどこからでも配車状況が見られます、配車表作成時間を削減できます、スマホ活用で指示書の作成や地図のプリントが不要です、受注ミスや抜け漏れを防げます。

〒 160-0003　東京都新宿区四谷本塩町２－８ A YOTSUYA 1 NW ／２
メールアドレス： sales@fanfare-kk.com
電話番号：　０５０－１７４８－２６９７（営業部直通）

2 「委託契約書の電子化で業界の DX 化をスピードアップ」

講師：トライシクル㈱　山本 兼嗣 氏、河崎 誠 氏

電子契約とは、暗号技術を応用した、「電子署名」と「タイムスタンプ」を電子ファイルに施すことで安全に当事者の合意の証を残し、締結する契約を指します。製本・郵送・押印が不要で業務効率が向上します。契約締結から契約書の保存管理まで一元管理、閲覧、検索が可能です。印紙代、保管費が不要、人件費が削減できます。

〒 140-0014　東京都品川区南大井６－２３－３ 大森ベルポートＤ館８階
メールアドレス： yamamotok@tricycle-ce.com
kawasakim@tricycle-ce.com
電話番号：　０３－６４１０－８７８０
０９０－６６５９－２４８３（山本氏携帯）
０９０－２５３２－７６３０（河崎氏携帯）

第 19 回　産業廃棄物と環境を考える全国大会 東京で開催

11 月 10 日㈮、東京台場のグランドニッコー東京台場で第 19 回産業廃棄物と環境を考える全国大会が開催された。概要を紹介する。

専務理事　鈴木 研二

小池 東京都知事からのメッセージを聴く会場

1　伊藤 環境大臣メッセージ

先月首相官邸で車座対話が行われ岸田首相からサーキュラーエコノミーを中長期的な重要な柱として位置づけていると発言があった。カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの実現に向けて資源循環・産業廃棄物処理を担っている皆様への期待は、これまでになく大きくなっている。脱炭素と資源循環を一体的に後押し、官民あわせた大規模な投資につなげることで社会変革をめざしていく。

2　小池 東京都知事メッセージ

コロナ禍のなか皆さんはエッセンシャルワーカーとして活動され、一日も絶やすことなく廃棄物の適正処理と資源循環等にご尽力いただいた。感謝申し上げる。東京都は環境基本計画でエネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現を掲げている。大量消費型の資源利用の在り方をサーキュラーエコノミーへと移行していく。以前からリサイクルに取り組んできた皆さんは、まさに時代の先駆者。今後も国全体をけん引していただきたい。

3　環境大臣表彰

続いて令和５年度の循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰が行われた。今年度は 28 名が受賞した。東京都からは、全国産業資源循環連合会（全産連）理事、当協会常任理事である都築鋼産㈱代表取締役副社長 都築 建 氏が全産連の推薦で表彰を受けた。受賞者を代表して都築氏は「微力ではあるが少しでも社会に貢献できたことは何よりもうれしいこと。さらにお役に立てるように努力を重ねてまいりたい」と謝辞を述べた。

環境大臣表彰受賞者の皆さま（都築氏は前列左から４人目）

謝辞を述べる都築氏

4　講演

続いて、環境省環境再生・資源循環局の角倉（すみくら） 次長が「循環経済への移行による『新たな成長』の実現」と題して講演。資源循環産業が経済政策・産業政策のど真ん中にきている、循環経済関連ビジネス規模を 80 兆円以上にあげていくことが政府全体の目標、環境制約に対する解決策であるだけでなく、経済安全保障、経済成長、地方創生など、国家戦略として追及する価値がある、皆様方と一緒にめざしていきたいと講演した。

講演の角倉 氏

次回、第 20 回全国大会は令和６年 11 月 15 日に岐阜県岐阜市で開催される。

懇親会で乾杯挨拶をする鈴木当協会会長

建設廃棄物委員会

一都三県建設混合廃棄物意見交換会を開催

建設廃棄物委員会（高橋潤 委員長）は、埼玉県、千葉県、神奈川県の各協会との合同の意見交換会を、令和 5 年 11 月 20 日㈪ 15 時～ 16 時 30 分に開催した。

その概要を報告する。　　**事務局長　木村 尊彦**

会場

1 開会あいさつ

鈴木 会長

当協会 鈴木 会長から、概略以下のあいさつがあった。

「2024 年問題への対応のために、われわれ産業資源循環業者としても、排出事業者である建設会社と話して、さまざまな工夫をこらす必要がある。また、必要な人材を確保するために、処理料金をめぐる価格交渉などを、経営者が先頭に立って、進めていかなければならない。東京都内の産業廃棄物の排出量は、上下水汚泥を除けば、その 85% が建設廃棄物であるから、この分野での取組は、産業資源循環業界全体に大きく波及していくものである。本日お集りの皆様方の取組に大いに期待している。」

2 講演

谷口 氏

テーマ「2024 年問題と建設廃棄物業界の課題と対策」と題して、建設廃棄物協同組合　専務理事 谷口敏幸 氏が講演した。

谷口講師からのメッセージは以下のとおりである。

来年 4 月 1 日から適用される改正改善基準告示が物流業界、とりわけ建設廃棄物の収集運搬業にもたらすインパクトは相当なものであり、売上の大幅ダウン・ドライバーの離職等への対応が後手に回らないよう、我々処理業界としても法の概要（建付け）を理解し、かつ社内改革・社内整備を含めた対応策を講じながら、荷主である排出事業者様のご理解（予約配車の完全実施・現場待機時間の削減、渋滞時間帯の回避など）を得る努力を早々に開始していく必要があると考える。

本日は、法の建付け・派生する論点・予想される現場実務の課題・今後の対応策（案）などについてお話し申し上げ、喫緊に迫った問題に対応される皆様方へのご参考になればと考えている。

講演内容のうち、筆者の印象に残ったものは以下のとおりである。

2024 年問題に的確に対応しないと罰則が課され、産業廃棄物処理業許可の欠格要件に該当するおそれもある。国土交通省からは 30 日間の事業停止処分の可能性もある。書類送検されると会社名が公表されてしまう。

法令の規定を守らないと従業員からの内部告発もありうる。

配車担当者だけに任せるのではなく、労務担当者が配車担当者に「このドライバーにはこれ以上仕事をさせてはならない。」と言うことにもなる。

推計では 2024 年問題で売り上げは 15% 減となるので、ドライバーの給与が下がってドライバーの離職が増えることが懸念される。

よって、しっかりと対応しなければならない。

具体的には、労働と労働の間に入れなければならない休憩時間をどうやって取らせるかが大事である。その休憩時間をとらせたことのエビデンス（証拠）をどう残すかも考えないとならない。休日は、労働終了後に、24 時間＋ 9 時間＝ 33 時間をとらせないとならない、等々。

道路交通法で定められた、アルコールチェックについて、対面でどうやるか考えないとならない。安全運転管理者は正の者の休暇等を考えれば副も含めて 2 名必要になる。アルコールチェック時間は従業員の拘束時間に含まれる。道路渋滞の時間は拘束時間に含まれる。

作業時間短縮のためには、積込・積降時間を減らすことができるコンテナ車が効率的である。マニフェストも電子化されたい。

当日受注を廃止する。到着時間のバッファーをとる。到着時間の柔軟化を図る。現場待機時間の短縮を図るため現場工事との調整を図る。夜間・休日の料金を割り増しにする。ドライバー指名を減らす。回収のタイミングの設定を可とするためにもデジタル化は急務。建設会社は、資材搬入は考慮しても廃棄物の搬出はおろそかなのでこの改善を求めていく、等々。

日本建設業連合会と以下の点の打ち合わせを進めていく。時間短縮のルール作り、電子ツールの活用、複数の処理会社との連携、廃棄物の共同積替保管場所の設置、等々。

3 閉会あいさつ

杉田 千葉県協会会長

（一社）千葉県産業資源循環協会　杉田 会長から、概略以下のあいさつがあった。「本日の講演を契機にさらに検討を深めていかなければならない。建設廃棄物を扱う処理業者は、災害廃棄物の処理も行えるので、その面での貢献も大いに期待している。」

（一社）東京都産業資源循環協会

令和５年度
安全衛生標語コンクール 入選作品決定

当協会の安全衛生推進委員会（細沼順人 委員長）では、令和５年８月１日から９月30日にかけて安全衛生標語の募集を行いました。

これは、労働災害をなくすことを目標とした標語を会員企業の従業員の皆さまに考えていただきたいと願って令和３年度から始め、今年度は３回目の開催となりました。

年々応募数も増えており、今年度は199名様からの応募がありました。ご応募ありがとうございました。11月14日の安全衛生推進委員会で厳正な審査のもと、安全衛生推進委員会 委員長賞１作品、優秀賞２作品、佳作３作品を決定しました。ここに入選作品を発表いたします。受賞の皆様、誠におめでとうございます。入選作品の授賞式は令和６年１月26日の賀詞交歓会で執り行います。

なお、委員長賞及び優秀賞につきましては、ポスター※を作成して正会員企業へ配布いたしますので、社内へ掲示し労働災害防止にお役立てください。

※ 16ページをご参照ください

✽ 安全衛生推進委員会　委員長賞

株式会社 三凌商事　　江成 智行　様

知って守ろう　作業のルール
守って作ろう職場の安全

標語への思い・受賞の喜び

私は工場に勤務しており、手順を間違うと事故や怪我に繋がる場合があります。危険と向き合う中「作業のルール」を周知・徹底する事が大切だと考え、標語を作りました。受賞できて嬉しく思います。有難うございます。

✽ 優秀賞

株式会社 京葉興業　　天笠 竜之佑　様

日々の安全　未来を紡ぐ
共に築こう　ゼロ災の道

標語への思い・受賞の喜び

安全を日々の行動に織り込んだ安全意識が、未来を築く第一歩です。

個々の努力が職場、社会全体の安全を確保し、共に育てる安全文化がゼロ災害の実現へと繋がり、より良い未来を築くための道となります。

✽ 優秀賞

日本メディカル・ウェイスト・マネジメント 株式会社　　岩井 美歩　様

先輩から後輩へ　つなぐバトンで安全リレー
安全遵守はチームの誇り

標語への思い・受賞の喜び

「故きを温ねて新しきを知る」の精神で、今後も益々組織が一体となりチームとして安全衛生面に留意していきたいとの思いを込めました。

この度の受賞を心より感謝いたします。

✽ 佳　作

株式会社 ハチオウ　　神谷 尚道　様

「身につけよう見えない危険を見つけるちから」

✽ 佳　作

株式会社 三凌商事　　北島 康成　様

危険を見つけるあなたの目、危険を摘み取るあなたの手

✽ 佳　作

大谷清運 株式会社　　遠藤 弘子　様

油断・過信は労災の元！「気づき・考え・行動」しよう

一般社団法人 東京都産業資源循環協会

令和5年度 安全衛生標語コンクール 優秀作品

安全衛生推進委員会 委員長賞

知って守ろう　作業のルール
守って作ろう職場の安全

株式会社 三凌商事　江成 智行

優秀賞

日々の安全　未来を紡ぐ
共に築こう　ゼロ災の道

株式会社 京葉興業　天笠 竜之佑

優秀賞

先輩から後輩へ　つなぐバトンで安全リレー
安全遵守はチームの誇り

日本メディカル・ウェイスト・マネジメント 株式会社　岩井 美歩

人材確保プロジェクト主催

若手社員のためのスーパーエコタウン研修会

穏やかな秋晴れとなった 10 月 27 日㈮、人材確保プロジェクト（二木玲子 リーダー）は、会員企業の入社１～３年目（新卒・第二新卒）の社員を対象とした「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会」を東京スーパーエコタウン（大田区城南島）において実施した。参加者は 39 名（及びプロジェクトの運営メンバーは８名）であった。

午前９時より、成友興業㈱の会議室をお借りして、二木リーダーの挨拶に引き続き、まず『資源循環業で働く人のための基礎講座』と題し、プロジェクトメンバーである山下田鶴氏がサーキュラーエコノミーや LCA について講演を行った。

その後、参加者は二班に分かれ、成友興業㈱、高俊興業㈱の各施設を交代で見学した。

昼食をはさみ、午後は㈱アルフォ、㈱リーテムの各施設を二班交代で見学した後、会議室に戻り、８班に分かれてグループディスカッションを行った。テーマはグループ毎に決め、最後に各グループの代表者が議論の経緯や結果について発表した。

以上で研修会の全行程が終了し、貸切バスで午後５時前に JR 大森駅に到着、無事解散となった。

最後になりましたが、研修会にご協力いただきましたスーパーエコタウン各施設の皆さまには心より感謝申し上げます。（事務局）

次ページより、参加者を代表し、２名様の感想をご紹介する。

参加者の皆さま（成友興業・屋上にて）

スーパーエコタウン研修会で学び成長できたこと

株式会社 リーテム　営業部
小貫 泰生

資源循環について今までの考え方より、「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会」に参加をして知識、理解が深まり様々な角度からの考え方ができるようになりました。

私は資源循環業界に入社をしたのが今年の4月であり、営業職として約半年間、一から資源循環について学んできました。入社する前は、SDGsなど言葉は知っていましたが詳しく調べたりせずにいました。しかし、この業界に入り営業を通して沢山関わることで資源循環に対して理解を深めてきました。資源循環について理解をするとともに自分が入社した会社の経営理念やビジョン、会社の役割などを教わり、この会社で資源循環に大きく関わっていきたいと考えるようになりました。

この業界は広く奥が深いため学ぶことが沢山あり、まだまだ理解が足りていないと感じていた所に「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会」へ参加のお話を頂きました。研修会では、「成友興業株式会社」「高俊興業株式会社」「株式会社アルフォ」「株式会社リーテム」の四企業で施設見学をさせて頂きました。四企業とも扱っている物が様々であり、より多くの物を限られた敷地の中で効率良く純度の高い原料に戻せるように工夫をしていました。

工場見学の後にグループディスカッションの時間を設けていただき、資源循環に携わっている業界で入社1～3年目の同世代の方々と意見交換をすることができました。私のグループでは、自動車をガソリン車から電気自動車に変えていくことは、本当に環境に優しいのか議論になり、バッテリーの製造過程でCO_2の排出量が多く環境に悪いという意見が出ました。又、使用した後のバッテリーや電池は私のグループではどの企業の方も処理をするのに苦戦している物でした。衝撃を与えると発火して火災に繋がってしまいます。そのため、そのまま破砕機に入れられないので、どの企業も火災を防ぐためにバッテリーや電池を取り除く工程として、手選別が必要とのことでした。手選別の時間を減らすことが出来れば処理の能力が上がり資源循環の効率も上がっていくと考えます。電池・バッテリーなどが必要な商品は、簡単に処理ができるように生産をする時点で将来のことを意識することが大事であると考えます。

今回の研修会では、スーパーエコタウンについて基礎から学び、エコタウン内の企業を見学することで実際に取り組んでいることを見ることができ資源循環について身近に感じることができました。環境について今まで以上に興味を持つことができました。

今後も資源循環は、環境を守るのに欠かせないので今後もっと知識を増やして、会社を通して環境を守る手助けを少しでもできれば良いなと考えます。将来的にも、環境問題は続いていくと考えるので資源循環に携わっている企業に入社できたことが誇りです。

今回、初めての試みに参加できてとても光栄でした。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。これからも開催して頂きたいと願います。

若手社員のためのスーパーエコタウン研修会

株式会社 京葉興業
ディヤ　アユ　ペルマタサリ

10月27日に、東京都産業資源循環協会が主催する若手社員向けのスーパーエコタウン研修会に参加し、非常に興味深く、大変勉強になりました。この研修会を通じて、産業廃棄物処理業界における環境への配慮や持続可能性について深く理解する機会を得ました。

最初のセッションではサーキュラーエコノミーと二酸化炭素削減の背景や、日本における動向について学び、環境問題の重要性と産業廃棄物処理業界に求められる役割についての理解が高まりました。

産業廃棄物業界をとりまく環境の説明を受けた後、参加者は2つのグループに分かれて、施設見学へ移動しました。私の班が最初に向かったのは高俊興業㈱東京臨海エコ・プラントでした。中間処理施設のビデオを視聴し、施設内を見学させていただきました。工場内では建設現場から発生した廃材はまずダンピングヤードにおいて手作業で分別を行い、再利用可能な材料にリサイクルできるように廃棄物を選別されました。また、他の廃棄物処理施設においても起こりうるリチウムイオン電池による発火の問題に直面している実情を知り、作業中の安全対策がいかに重要かを再認識しました。

その後、成友興業㈱城南島第二工場へ移動しました。汚泥・汚染土壌は乾式分級・湿式洗浄・高度水洗浄・水処理・固化処理プロセスを経て改良土に再生すると共に、セメント原料化しています。これにより、廃棄物の環境への負荷が減少できると考えられます。

昼食を挟んで、午後から金属系リサイクル施設の㈱リーテム東京工場へ。

㈱リーテム東京工場において古くなった家電製品が解体され、部品や材料が分別されて再利用可能なものが選別される様子が見られました。貴重な資源が無駄にならないようにリサイクルすることを重視し、家電製品の廃棄物が最小限に抑えられる取り組みを確認できました。

次に向かったのは㈱アルフォ城南島第2飼料化センターです。㈱アルフォの工場では食品廃棄物が受け入れられ、分別され、再生可能な飼料へ処理されています。これにより、食品廃棄物が無駄にならず、新たな価値を生み出すことができ、持続可能な食糧供給の向上に貢献できると考えられます。

施設見学の後、グループディスカッションが行われ、他社の若手社員との意見交換を通じて、新たな視点を得ることができました。ごみ削減とリサイクル率向上について具体的なアイデアと提案が挙がり、例えば、ごみを減らす取り組みと製造業者・コンシューマーの関係、リサイクル率向上のための産廃処理業者の取り組みなどが議論されました。

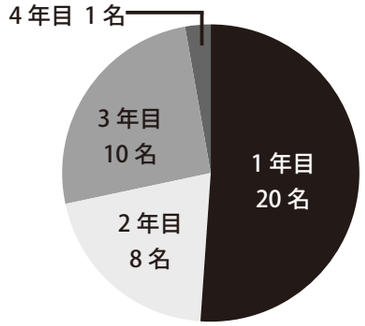
この研修会を通じて、環境への配慮と持続可能性に対する意識が高まりました。また、DX、GX、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、廃棄物をいかに少なくするか、リサイクル率をどう上げるか、作業環境をどのように改善するかなど、産業廃棄物処理業界における課題について深く考える機会でもありました。

① 講演風景
② 成友興業にて
③ 高俊興業にて
④ アルフォにて
⑤ リーテムにて
⑥ グループディスカッションの様子 1
⑦ グループディスカッションの様子 2

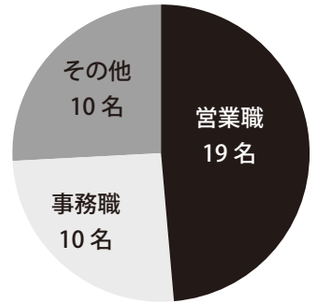
『若手社員のためのスーパーエコタウン研修会』アンケート結果 （抜粋）

回答数：３９名（全参加者）

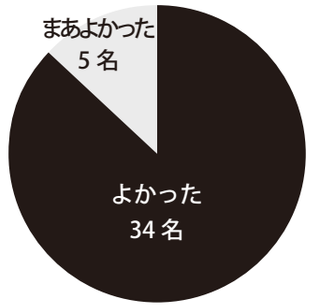
●入社して何年目？



●職種は？



●研修会の満足度は？

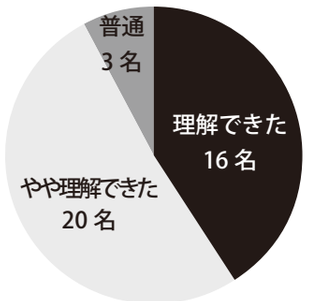


【よかった：理由】
- 普段見ることができない他社の工場を見学するこができ満足度が高かった。
- 自分が知らない様々な品目の処理フロー等について学ぶことができ勉強になった。
- 同業他社の年齢の近い人たちと交流する機会がなかったので貴重な経験であった。
- 今後の営業にも役に立ちそうな知識を得ることができた。

【まあよかった：理由】
- 他工場の仕組みや安全対策等を知ることができたが、専門用語等でよくわからない説明もあった。
- 1日4社の見学ということで、よい機会ではあったが、時間が少し足りなかった。

など

●研修内容の理解度は？



【理解できた：理由】
- 工場見学の前に概要を説明いただけたのがよかった。
- 難しい内容ではあったが、自分なりに理解できた。

など

【やや理解できた：理由】
- 専門外ではあるので、完全には理解できなかったが勉強になった。
- 細かい部分はパンフレットを見て確認し、ついていくのがギリギリな場面もあった。

など

【普通：理由】
- 時間が少なかったため、表面の部分しか説明が聞けず、処理工程の詳しい流れ等が理解できなかった。

など

●その他研修会に参加されての感想

- 普段はお客様や競合他社である人とグループディスカッションや雑談もでき貴重な機会となった。
- 様々なリサイクルフローを学ぶだけではなく、ディスカッションの中で他社の課題や悩みを聞くことができ参考になった。
- 他社の事業を知り、自社の事業を振り返ることができた。
- リサイクル技術等は自社に持ち帰りたいものばかりであったが、現実的には難しい。
  現実的にできそうなこととして、作業員の安全対策については、自社のプラントに活かすことができると感じた。
- そもそも廃棄物の量の多さにびっくりした。廃棄物を減らすために必要な仕組みやシステムを考えられるような人材になりたい。

など

第２回　全国女性部会のつどいが行われました

（公社）全国産業資源循環連合会女性部協議会（二木玲子 会長）は、令和５年11月10日㈮11時30分より、グランドニッコー東京台場（港区台場）にて「第２回全国女性部会のつどい」を開催しました。東京都産業資源循環協会の女性部（野村幸江 部長）からは10名が参加しました。当日は会員さんのお子さまも同席されるなど女性部会ならではのにぎやかに、そして和やかに語り合う会合になりました。

参加者の皆さま

今回の講演は厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課の佐藤様より「多様な人材が働きやすい安全な職場づくり」をテーマに、女性目線で労働災害での死傷者数の減少を目指すために、どのような取組みができるか検討するため、産業廃棄物処理業の現状についてお話をいただき、理解を深めることができました。

講演内容要約は以下の通り。

1．産業廃棄物処理業は労災事故の発生率が増加傾向にあり「墜落・転落」や「挟まれ・巻き込まれ」災害の割合が大きい。
2．製造業や陸上貨物運送業との事故型を比較すると重症になりやすい傾向にある。また、どの業種も転倒による災害が増加傾向にある。また、転倒は高年齢になるほど労働災害発生率が上昇し、高年齢女性が特に高い傾向にある。
3．精神障害の労災に関する請求件数・認定件数は年々増加し、令和４年に最高値を更新。しかしながら、メンタルヘルス対策について中小企業は、ノウハウや人材不足により取組みが遅れている。

上記３項の課題については「産業保健総合支援センター」や「こころの耳」、「中災防による安全衛生マネジメントのセミナー」などの活用を紹介。

受講した私個人も先日、客先訪問途上の道端で躓き、右足の親指を骨折という

講師の佐藤 氏（右）

労災事故があり、他人事と思えず聞き入ってしまう講演でした。また、ハラスメント問題も気づかないうちに身近で起きたことがあり、対応に苦慮した記憶があります。

この経験と講演で得た知識を社内や部内メンバーに水平展開するとともに、協議していきたいと思います。

（日本メディカル・ウェイスト・マネジメント㈱
金原 彩扇）

謹賀新年

2024年　元旦

一般社団法人 **東京都産業資源循環協会**

会長	鈴木宏和
専務理事	鈴木研二
事務局長	木村尊彦
	佐伯初美
	髙野清花
	松田和泉
	深井裕香
	小熊朋恵
	中澤宏子

広報委員会

委員長	森　雅裕
副委員長	吉本花子
副委員長	大崎秀也
	福田　隆
	吉野猛彦
	佐野藤治
	小林　豊
	望月麻子
	石野伸一
機関誌編集担当	塩沢美樹

理事会・委員会報告

中間処理委員会　中和・脱水分科会（板垣 リーダー）

開催日時： 12月5日㈫ 15時～　**場所：** 協会会議室　**出席委員：** 4名

議題及び内容：

① 2月28日㈬開催の「労働安全衛生法の新たな化学物質規制について」オンラインセミナーの詳細を検討した。

② 令和6年度の活動について検討した。

次回開催日： 2月28日㈬　オンラインセミナー

法制度検討委員会（都築 委員長）

開催日時： 12月7日㈭ 14時30分～　**場所：** 協会会議室　**出席委員：** 8名

議題及び内容：

① リチウムイオン電池混入対策について

リチウムイオン電池を処分している委員の会社での取組について委員から講演があった。リチウムイオン電池の混入防止に関する産業廃棄物処理委託契約書での記載方法について議論した。

② 家電リサイクル法の問題点について

家電リサイクル券と産廃マニフェストの扱いについての再確認を行った。当該議事については次回へ議論を持ち越しとなった。

③ 他の議事については、次回の委員会にて検討することとなった。

次回開催日： 2月14日㈬ 14時30分～　協会会議室

表紙の言葉

●今月の写真：［コミュニティバス］くるりんバス（立川市）

立川市のコミュニティバス「くるりんバス」は、2002年に運行を開始しました。2013年度から検討が始まった再編計画に基づき、路線バスとくるりんバスの現状調査や、アンケートによる市民および利用者の声を検討して運行ルートが再編され、現在4つの路線が運行されています。

●参照： 立川市HP　☞https://www.city.tachikawa.lg.jp/kurashi/kotsu/shiminbus/index.html

●撮影者： 塩沢 美樹（機関誌編集担当）

身近なヒヤリ・ハット事例 Part174

	何処で	何をしている時	何がどうした	改善事項
1	片側2車線ある一般道路で	走行中	歩行者が横断歩道のないところで急に渡って来て驚いた。	常にかもしれない運転を励行し、法定速度を守り安全に走行する。
2	一般道路で	朝の通勤での走行中	対向車が信号のない交差点で右折ウインカーを出して止まっていた。自車は直進のため進んでいたら、左側に横断歩道を渡ろうとしている人がいて驚いた。	朝陽に向かって走っていたため、日陰にいた歩行者を見逃していた。対向車だけでなく、歩行者がいることにも注意しながら走行する。
3	高速道路で	渋滞が緩和し始めて流れに沿い走行していた時	前を走っていたトラックが急ブレーキをかけ、自分も急ブレーキをかけたが、ぶつかる危険性があったため、急ハンドルを切り、衝突を免れた。	前のトラックが大きく、前方の状況が見えない場合、車間を空けての運転が必要。また、速度が出ている状況下で事故が急に起こった場合、避け切れないため車間が必要。
4	一般道路で	走行中	路上駐車をかわしてから、元の車線に戻る際にすぐ後ろにいたバイクが左から抜かそうとしてきてヒヤリとした。	バイクが左からすりぬけることも考え、まわりの状況をよく確認して走行するように心がける。
5	住宅街で	走行中	交差点に差し掛かったところ自転車がスピードを出して交差点を横切りブレーキをかけた。	住宅街を走行する際には今まで以上に慎重な運転を心がける。
6	工場内で	高さのある装置の上を掃除する時	凄く脚立がガタガタ揺れるので脚立を確認したら開く場所が劣化していて、その部品が取れかかっていた。	使用前に揺れ等を確認し、問題があれば、上司に連絡をし、使用禁止の札をはる。

「ヒヤリ・ハット」の事例がございましたら、協会までお寄せください。

SDGs への取組

ＳＤＧｓと言われても一体なにをしたらいいのだという声を聞く。広報委員会では、毎月、目標を一つずつ取り上げ意見交換している。17 回連載の今回は 14 回目である。

目標 14　海洋資源

- 海は世界とつながっている。海に捨てたり、風で流されたり、河川や地下水を通じて流れていくもの､あるいは人体の中を通過して下水処理場を経たもの等（マイクロプラスチックやそれに含有していた化学物質等）のゴールが海であり、そこに生息する魚やその他の生物を介して人の健康に悪影響を及ぼすことになる。一人ひとりの取組が大事であり、そのための啓発や教育が必要だ。
- 廃棄物になってからではなく、物を作るとき、物を買うときから海のことを考慮しなければならない。生産者の責任、購買者の役割が重要だ。
- プラスチックは、衣類を洗濯したり、太陽光にさらされて細かくなったりして、マイクロプラスチック化する。食品残さを堆肥化しようとしても、食品残さの中に混入しているプラスチックを分離できずその堆肥が農地で使用されるケースもある。するとこれらの最後の行先は海ということになる。こういうことも各人は理解しなければならない。
- 廃棄物の分野では適正処理と資源化の意識を高めることが大事だ。行政は、廃棄物を燃して二酸化炭素を排出し海を酸性化させるのではなく、資源化にもっと取り組むべきだ。生ごみ中にプラスチックを混入させないよう住民に周知すべきだ。
- かつては海洋投棄が行われていたが、国際条約の規制も進み今は海洋投棄の許可はきわめて難しい。かつて海洋投棄していた廃液は、技術を駆使して、今は下水道に流すこともせず、濃縮し熱量調整のための材料として利用できるようになった。社会コストはかかるが必要なことは進めなければならない。廃棄物の中間処理過程や最終処分場から先の化学物質のゆくえを注視し、研究や技術開発を進めて海洋汚染を防止しなければならない。
- 缶・ペットボトルが道路上や側溝に捨てられている。これらの回収作業や道路清掃作業も我々の事業でもある。このように陸上をきれいにし、その回収物を資源化していく事業に我々は貢献している。このようなクリーンでグリーンな取組はあまり世間に知られていないので、もっとアピールしていきたい。
- 海岸清掃に取り組んでいる NPO 法人の会員に我が業界の企業がなって、その NPO 法人が行う清掃作業（プラスチックのみならず粗大ごみまで回収される）に従業員が参加していってはどうか。
- 特定の海洋生物を大量に消費しないよう、将来に渡って魚介類が食べていけるよう配慮された水産物、サステナブル・シーフードの取組を消費行動に取り入れていこう。（天然水産物には MSC 認証、養殖水産物には ASC 認証があり、これらを表示しているスーパーがある。）
- 養殖魚しか食べられなくなる世界にならないように、みんな一所懸命になろう。

【持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する】

□	14.1	2025 年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。
□	14.2	2020 年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靭性（レジリエンス）の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。
□	14.3	あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する。
□	14.4	水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020 年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制（IUU）漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。
□	14.5	2020 年までに、国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の 10 パーセントを保全する。
□	14.6	開発途上国及び後発開発途上国に対する適切かつ効果的な、特別かつ異なる待遇が、世界貿易機関（WTO）漁業補助金交渉の不可分の要素であるべきことを認識した上で、2020 年までに､過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し､違法･無報告･無規制（IUU）漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する。
□	14.7	2030 年までに、漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。
□	14.a	海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う。
□	14.b	小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。
□	14.c	「我々の求める未来」のパラ 158 において想起されるとおり、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用のための法的枠組みを規定する海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する。

産業資源循環情報 No.45

加藤商事 株式会社

当社の資源循環への取組

弊社は昭和21年に創業して以来、衛生面における総合的な環境を整備する事業を主軸としてきました。平成15年に容器包装プラスチックリサイクル（その他プラとペットボトル）の選別工場として、エコ工場フェニックス第一工場を竣工させ、地元自治体を含む複数市より容器包装リサイクルの中間処理の委託を受けています。東村山市から中間処理業の許可第一号を取得させて頂きました。平成20年には第二工場も完成し、今では企業や市民約50万人から出される資源物をリサイクルしています。

エコ工場フェニックスの処理工程としては、搬入されたプラスチックを破袋機にて破袋後２回風力選別を行い、破袋されていない未破袋物を再度破袋し手選別工程に。選別されたものは圧縮梱包しベール化し出荷しています。出荷量は年間約8,000～9,000t、出荷先としては自治体の入札を落札したマテリアルリサイクル事業者やケミカルリサイクル事業者に出荷し、全て資源循環されています。

昨今では、レゾナック様が令和２年に産廃の受入れを再開すると同時に契約を結ばせて頂き、排出事業者様から委託を受けている廃プラを提携先の成形業者で成形処理を行い、年間約1,000tの産業廃棄物として排出される廃プラをアンモニアにリサイクルするケミカルリサイクルも推進しています。

また、「ボトルtoボトル」の水平リサイクルを推進している大手飲料メーカー様が弊社にペットボトルを集めるために相談に来られました。弊社が委託を受けている自治体もそのメーカー様が受託することとなり、弊社で選別した自治体のペットボトルは再度ペットボトルとして蘇っています。

いま世界は資源循環がテーマとなっており、今後も技術革新が行われ資源循環がより加速していくと思います。弊社としても資源循環を推進し「未来の地球に持続な環境を創る企業」を目指していきます。

加藤商事株式会社
代表取締役　加藤 宣行

エコ工場フェニックス第一工場

手選別ライン

協会の主な今後の日程

（令和６年１月10日現在）

月	日	曜日	行事予定	備考
2	5	月	建設廃棄物委員会　15：00～	協会会議室
	7	水	中間処理委員会　研修会　14：00～16：00	エッサム神田ホール２号館（千代田区）
	9	金	安全衛生研修会　14：00～16：30	エッサム神田ホール２号館（千代田区）
	13	火	人材確保プロジェクト　14：00～	協会会議室
	14	水	広報委員会　10：00～	協会会議室
			法制度検討委員会　14：30～	協会会議室
	15	木	女性部　施設見学会　～17日(土)	(鹿児島県奄美市)
	16	金	多摩支部　幹事会　14：00～ ／　適正処理意見交換会　15：00～16：30	たましんRISURUホール（立川市）
	26	月	青年部　幹事会　15：00～	協会会議室
	27	火	破砕・圧縮分科会　15：00～	協会会議室
	28	水	中和・脱水分科会　15：00～	協会会議室
	29	木	収集運搬委員会　15：00～	協会会議室
3	5	火	安全衛生推進委員会　15：00～	協会会議室
	12	火	全産連　；　理事会	Web開催
	13	水	広報委員会　10：00～	協会会議室
			三役会議　／　常任理事会　／　第87回理事会	協会会議室
	14	木	全産連青年部協議会関東ブロック　14：00～17：00	当協会会議室
	21	木	女性部　幹事会	協会会議室
	26	火	総務委員会　14：00～	協会会議室
			常任理事会　15：00～	協会会議室
	28	木	青年部　幹事会	協会会議室

労務相談

社会保険労務士
今 井 正 美

労働条件の明示ルールの改正について

Q　新入社員の入社や再雇用社員等の契約更新の時季になりますが、労働契約の締結にあたり、労働条件の明示内容が変わると聞いています。何がどのように変わるのか、改正内容とその具体的な対応について教えて下さい。

A1 労働条件の明示ルールの改正内容

労働基準法第 15 条第 1 項では、労働条件の明示について、「使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。」と定めています。

令和６年４月１日より、労働条件の明示が必要となる事項を定めている「労働基準法施行規則（以下「労基則」という。）」の内容が改正になり、労働契約の締結や更新のタイミングで労働条件の明示事項が追加されます。

また、「有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準（以下「雇止めに関する基準」という。」の改正により、有期契約労働者の更新上限を新設・短縮する場合の理由の説明や「無期転換申込権」が発生する契約更新時に、正社員労働者との均衡を考慮した事項の説明が必要になります。

1　労働条件の明示が必要な事項

（1）労働条件の明示事項（労基則第５条第１項）

①労働契約の期間に関する事項（期間の定めの有無、定めがある場合はその期間）、**②期間の定めのある労働契約を更新する場合の基準に関する事項（満了後に更新する場合があるもの）、③就業の場所及び従事すべき業務に関する事項**、④始業及び終業の時刻、時間外労働の有無、休憩時間、休日、休暇等に関する事項、⑤賃金の決定・計算・支払方法、賃金の締切り・支払い時期、昇給に関する事項、⑥退職に関する事項（解雇の事由を含む）、⑦退職手当、⑧臨時に支払われる賃金（退職手当を除く）、賞与及び最低賃金等、⑨労働者に負担させるべき食費、作業用品その他、⑩安全衛生、⑪職業訓練、⑫災害補償及び業務外の傷病扶助、⑬表彰及び制裁、⑭休職

（⑦から⑭の事項は、使用者がその定めを設ける場合に明示が必要となる。）

（2）労働条件の明示方法

上記⑴ ①から⑥（昇給は除く）については、書面を交付して明示しなければならない。なお、労働者の希望により、電子メール等による送信も可能だが、当該労働者が電子メール等の記録を出力することにより、書面を作成することができるものに限る。

また、当該労働者に適用する部分を明確にして、就業規則を労働契約の締結の際に交付することによる明示も可能である。

（3）パートタイム・有期雇用労働法に基づく追加の明示事項

パートタイム・有期雇用労働者に対しては、下記①から④の事項を別途書面等により明示する必要がある。

①昇給の有無、②退職手当の有無、③賞与の有無、④相談窓口

2　労基則等の改正により明示内容が変更（追加）となる事項とその内容

（1）上記1（1）③の事項に「変更の範囲」を追加（改正労基則第５条第１項）

① 対象となる労働者と明示のタイミングについて

すべての労働者（対象者にはパート・アルバイトや契約社員、派遣労働者、定年後再雇用者などの有期契約労働者も含む。）に対し、労働契約の締結時と有期労働契約の更新時に書面等による明示が必要となる。

②「就業場所と業務」について

労働者が通常就業することが想定されている就業の場所と、通常従事することが想定されている業務のことを指す。配置転換（異動）や在籍型出向の場所や業務、テレワークを行うことが通常想定される場合はテレワークが可能

な場所などを含み、臨時的な他部門への応援業務や出張、研修等就業の場所及び従事すべき業務が一時的に変更されるものは含まない。

③「変更の範囲」について
今後の見込みも含め、当該労働契約の期間中における就業場所や従事する業務の変更の範囲を意味する。就業場所や業務の変更が想定されない場合は、「変更なし」や雇入れ直後と同様の内容などになる。日雇い労働者に対しては、雇入れ日における就業の場所及び従事すべき業務を明示すれば足り、「変更の範囲」を明示する必要はない。（厚生労働省Q＆Aより）

④ 変更の範囲の明示が必要となる時期について
2024年（令和6年）4月1日以降の契約締結・契約更新時からで、契約の始期が令和6年4月1日以降であっても、令和6年4月以前に契約の締結を行う場合は、新たな明示ルールに基づく明示内容は不要である。（厚生労働省Q＆Aより）

（2）上記1（1）②の事項に「契約更新上限の書面明示」と「契約更新上限を新設・短縮する場合の説明」を追加

① 対象となる労働者と明示のタイミングについて
パート・アルバイトや契約社員、定年後再雇用などの有期契約労働者に対し、労働契約の締結時や有期労働契約の更新時に書面等による明示が必要となる。

② 更新上限の書面明示事項について（改正労基則第5条第1項）
有期労働契約の締結と契約更新のタイミングごとに、更新上限（通算契約期間または更新回数の上限）がある場合には、その上限について書面等による明示が必要になる。
※明示例：「契約期間は通算3年を上限とする」、「契約の更新回数は2回まで」など
契約の当初から数えた更新回数又は通算契約期間の上限を明示し、その上で、現在が何回目の契約更新であるか等を併せて示すことが考えられる。（厚生労働省Q＆Aより）

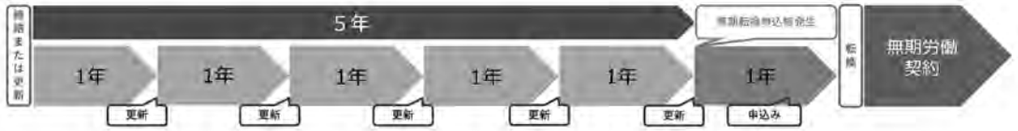
③ 更新上限を新設･短縮する場合の説明事項について（改正雇止めに関する基準）
更新上限を新たに設けようとする場合や更新上限を短縮しようとする場合について、更新上限を新設・短縮する前のタイミングで、更新上限を設定する又は短縮する理由を対象者に説明することが必要になる。

※説明例：「通算契約期間の上限を5年から3年に短縮します。」、「更新回数の上限を3回から1回に短縮します」など
説明の方法は特定の方法に限られるものではなく、「個々の有期雇用労働者ごとに文書を交付し、面談等により説明する。」、「説明すべき事項をすべて記載した資料を交付する。」、「説明会等で複数の有期契約労働者に同時に行う。」などの方法が考えられる。

（3）無期転換に関する事項に「無期転換申込機会の書面明示」や「無期転換後の労働条件の書面明示」を追加

「無期転換ルール」とは、同一の使用者（企業）との間で、「有期雇用契約が5年を超えて更新された場合、有期契約労働者からの申し込みにより、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換されるルールのこと。

（例示）契約期間が1年の場合、5回目更新後の1年間に無期転換の申込権が発生する。



① 対象となる労働者について
無期転換申込権が発生する有期契約労働者

② 無期転換申込機会の書面等明示について（改正労基則第5条第5項・第6項）
「無期転換申込権」が発生する契約更新のタイミングごとに、該当する有期労働契約の契約期間の初日から満了する日までの間、無期転換を申し込むことができる旨（無期転換申込機会）を書面より明示することが必要になる。初めて無期転換申込権が発生する有期労働契約が満了した後、有期労働契約を更新する場合は、更新の都度、同様の明示が必要になる。

③ 無期転換後の労働条件の書面等明示について
無期転換申込権が生じる契約更新時と、無期転換申込権の行使により無期労働契約が成立するそれぞれの時期に、無期転換後の労働条件を明示する必要がある。
明示方法は、上記**1**（**1**）の明示が必要な労働条件の内容ごとに明示するほか、有期労働契約の労働条件と無期転換後の労働条件との変更の有無、変更がある場合はその内容を明示する方法でも可能である。

④ 均衡を考慮した事項の説明について（改正雇止めに関する基準）

「無期転換申込権」が発生する契約更新のタイミングごとに、就業の実態に応じ、正社員等の通常の労働者との均衡を考慮した事項（例：業務の内容、責任の程度、異動の有無・範囲など）の説明に努めることが必要になる。（努力義務）

A2 追加の明示が必要となる事項への具体的対応について

1　就業場所及び従事すべき業務の「変更の範囲」（記載例）

（1）就業場所・業務に限定がない場合

① 就業場所

（雇入れ直後）　東京都内の支店・営業所	（変更の範囲）　本店及び全ての支店、営業所
（雇入れ直後）　東京支店	（変更の範囲）　全国への配置転換あり
（雇入れ直後）　本店	（変更の範囲）　会社の定める場所 （テレワークを行う場所を含む）

② 従事すべき業務

（雇入れ直後）　自動車運転業務	（変更の範囲）　会社内での全ての業務
（雇入れ直後）　営業業務	（変更の範囲）　会社の定める業務
（雇入れ直後）　経理業務	（変更の範囲）　全ての業務への配置転換あり

（2）就業場所・業務に一定範囲の限定がある場合

① 就業場所

（雇入れ直後）　足立営業所	（変更の範囲）　足立区内の支店・営業所
（雇入れ直後）　足立支店	（変更の範囲）　原則、東京都内の支店
（雇入れ直後）　東京本社	（変更の範囲）　東京本社、名古屋支社、大阪支社

② 従事すべき業務

（雇入れ直後）　自動車運転業務	（変更の範囲）　自動車運転業務、運行管理業務
（雇入れ直後）　工場作業業務	（変更の範囲）　工場作業業務、施設警備業務
（雇入れ直後）　営業業務	（変更の範囲）　営業業務、総務・経理業務

2　更新上限及び無期転換申込機会等（記載例）

契約期間	※（更新上限の明示） 更新上限の有・無　（無・ 有 （更新　４回まで／通算契約期間　５年まで）） ※（無期転換申込機会の明示） 【労働契約法に定める同一の企業との間での通算契約期間が５年を超える有期労働契約の締結の場合】本契約期間中に会社に対して期間の定めのない労働契約（無期労働契約）の締結の申込みをすることにより、本契約期間の末日の翌日（年月日）から、無期労働契約での雇用に転換することができる。 ※（無期転換後の労働条件の明示） この場合の本契約からの労働条件の変更の有無（ 無 ・ 有 （別紙のとおり））

3　募集時に明示すべき労働条件の追加（改正職業安定法施行規則第４条の２第３項）

労働者の募集を行う際、求職者に対しても「就業場所及び従事すべき業務の変更の範囲」、「有期契約労働者への更新上限の明示」等の労働条件の明示が必要になります。

【参考資料】

※ 001156048.pdf (mhlw.go.jp)　（厚生労働省「労働条件明示のルール変更」より）

※ 001156119.pdf (mhlw.go.jp)　（厚生労働省Ｑ＆Ａ「令和５年改正労働基準法施行規則等に係る労働条件明示等に関するＱ＆Ａ」より）

※ 001156118.pdf (mhlw.go.jp)　（厚生労働省「モデル労働条件通知書」様式より）

広　告

事務局だより

新年あけましておめでとうございます。昨年は協会事業にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いします。

令和６年の幕があけましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今回の年末年始のお休みは新型コロナウイルスが５類になってから初めてだからでしょうか、新幹線の指定席がコロナ禍前のお休みの時よりも取りにくくて、びっくりしました。きっと、皆さん帰省やご旅行を楽しむ人が多いのでしょう。

私は実家に帰省する時は東北新幹線を使うのですが、コロナ禍前はある程度、数日前でしたら12月30日、31日は自由に指定席が取れていた記憶でした。しかし今回チケットを取ろうとしたら、ほとんど×印で、なんとか取れるだろうと甘くみていた自分を反省しました。私はしつこく何回も席の状況を確認していたら、ちょうどキャンセルで出たひと席を確保することができホッとした次第です。

私の実家は雪国ですが、私が子供のころから見ると大分雪が少ない気がします。しかし、少ないと言っても「ドカ雪」になると一晩であっという間に積ります。（皆さん「ドカ雪」ってお分かりになりますか？一気に雪が降り積もることを言います）子供の頃は雪だるまや、かまくらを作ったり、雪合戦をして遊んだものです。スキーも楽しかったし、初雪が降るとワクワクした記憶もあり、楽しかったなと懐かしいものです。（大人になると大雪は困りもので寒いのも苦手です）

それでは、そんな幼少期を懐かしみながら、皆さまのご健康とご多幸をお祈りしつつ、この事務局だよりを締めたいと思います。

編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も機関誌「とうきょうさんぱい」をよろしくお願い申し上げます。

本来であれば、初春のお祝いをしたいところなのですが、元旦の夕刻に能登半島での震度７の地震と津波が発生し、その翌日には羽田空港で海上保安庁機と民間機の接触事故という大惨事が続きました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、また被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、昨年のとうきょうさんぱいのテーマをキーワードで振り返りますと、「災害廃棄物」、「脱炭素化」、「スコープ３」、「リチウムイオン電池」、「労働安全衛生」、「少子高齢化」、「物流２０２４年問題」、「採用難」などが多く取り上げられました。

今年はどのような年になるでしょうか？

先ず、能登半島地震の災害復旧や労働環境の改善などは急務とすべき事案です。また、昨年までの課題は解決に至っておらず、まだ続きそうです。

一方、新しいキーワードとして期待したいのは、各社の「サーキュラー・エコノミーへの取り組み」、６月に策定予定の「第五次循環型社会形成推進基本計画」などがあると思います。

新しい年が、会員の皆様のご発展と従業員様とそのご家族の皆様にとって幸多い年となられますことを祈念いたしまして、新年の編集後記とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。　（森）

とうきょうさんぱい

第40巻第11号 通巻第401号

令和6年2月1日発行

発行人　鈴木宏和
企画・編集　広報委員会
発行　一般社団法人 東京都産業資源循環協会
〒101－0047　東京都千代田区内神田１－９－13 柿沼ビル 7F
TEL　03（5283）5455（代表）　FAX　03（5283）5592
https://tosankyo.or.jp　E-mail;info@tosankyo.or.jp

謹賀新年

2024年　元旦

会　長
㈱京葉興業
代表取締役　鈴木宏和
東京都江戸川区篠崎町1－2－6
電話03－3678－0111

常任理事
㈱ハチオウ
代表取締役社長　森雅裕
東京都千代田区神田富山町5－1 神田ビジネスキューブ5F
電話03－3837－8080

副会長
㈱三凌商事
代表取締役社長　赤石賢治
東京都町田市木曽東1－34－6
電話042－726－2647

常任理事
東京ボード工業㈱
代表取締役社長　井上弘之
東京都江東区新木場2－11－1
電話03－3522－4139

副会長
成友興業㈱
代表取締役　細沼順人
東京都あきる野市草花1141－1
電話042－558－4111

理事
㈱太陽油化
代表取締役　石田太平
東京都板橋区三園2－12－2
電話03－3938－0022

副会長
㈱五十嵐商会
代表取締役　五十嵐和代
東京都練馬区三原台2－1－27
電話03－3922－7547

理事
㈱東京スタンドサービス
代表取締役　有吉嘉一郎
東京都三鷹市新川2－14－25
電話0422－46－2494

副会長
加藤商事㈱
代表取締役社長　加藤宣行
東京都東村山市恩多町1－12－3
電話042－392－1001

理事
東港金属㈱
代表取締役　福田隆
東京都大田区京浜島2－20－4
電話03－3790－1751

常任理事
大谷清運㈱
代表取締役　二木玲子
東京都葛飾区水元1－3－13
電話03－3600－5561

理事
高俊興業㈱
代表取締役社長　高橋潤
東京都中野区新井1－11－2
電話03－3389－8111

謹賀新年

2024年　元旦

理事
㈱都市環境エンジニアリング
代表取締役社長　新川研
東京都江東区木場5－6－35
電話03－5639－0740

正会員
相田化学工業㈱
代表取締役　相田英則
東京都府中市南町6－15－13
電話042－368－6311

理事
比留間運送㈱
代表取締役　比留間宏明
東京都武蔵村山市中央2－133－1
電話042－565－1336

正会員
㈱ＩＷＤ
代表取締役　前迫静美
神奈川県海老名市大谷北2－1－46
電話046－235－6000

理事
丸順商事㈲
代表取締役　矢部要
東京都羽村市富士見平2－1－14
電話042－554－2229

正会員
㈱アクアホーム
代表取締役　安保貴史
東京都武蔵野市吉祥寺本町1－10－7
電話0422－27－6279

監事
㈱スリーシープランニング
代表取締役　山下智栄子
東京都品川区南品川3－6－31
電話03－5769－0157

正会員
㈱朝田商會
代表取締役　真田一伸
東京都千代田区丸の内3－4－1
電話03－3213－9451

正会員
㈲アーク
代表取締役　志賀教夫
埼玉県吉川市保1－4－7
電話048－984－7987

正会員
アトラス商事㈱
代表取締役　上田淳
神奈川県川崎市宮前区小台2－16－2
電話044－750－9295

正会員
㈱アーバンサービス
代表取締役社長　榎田利光
神奈川県横浜市中区新山下3－7－24
電話045－628－7888

正会員
㈲アベマキ
代表取締役　阿部真樹
東京都足立区東和2－24－17
電話03－5697－6642

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
有明興業㈱
代表取締役　松　岡　和　人
東京都江東区若洲２－８－２５
電　話　０３－３５２２－１９１１

正　会　員
㈱アルフォ
代表取締役社長　熊　木　　浩
東京都港区赤坂２－５－４ 赤坂室町ビル７Ｆ
電　話　０３－４２３２－５６７３

正　会　員
㈱アンカーネットワークサービス
代表取締役ＣＥＯ　碇　　隆　司
東京都葛飾区新宿３－９－１５
電　話　０３－３６００－５８７３

正　会　員
㈱市川環境エンジニアリング
代表取締役社長　岩　楯　　保
千葉県市川市田尻２－１１－２５
電　話　０４７－３７６－１７１１

正　会　員
市川燃料チップ㈱
代表取締役　彦　坂　裕　一
東京都江戸川区平井３－２３－１７
電　話　０３－３６３６－３２８０

正　会　員
㈱一不二総業
代表取締役　齋　藤　和　行
東京都千代田区九段南４－２－９
シルキーハイツ九段南７０１
電　話　０３－５２２６－５０５７

正　会　員
㈱ウチダ
代表取締役　内　田　一　二　三
埼玉県ふじみ野市駒林１８
電　話　０４９－２６３－９７７７

正　会　員
浦野産業㈱
代表取締役　浦　野　太　嗣
東京都あきる野市原小宮２－３－３６
電　話　０４２－５５８－９５６３

正　会　員
栄和清運㈱
代表取締役　花　形　匡　晃
東京都杉並区堀ノ内２－１１－３２
電　話　０３－３３１７－２２８１

正　会　員
永和鉄鋼㈱
代表取締役　永　井　　健
東京都西多摩郡瑞穂町長岡３－６－９
電　話　０４２－５５６－２１２１

正　会　員
栄和リサイクル㈱
代表取締役　金　城　虎　一
東京都新宿区西早稲田２－９－１６
東急ドエルアルス早稲田２Ｆ
電　話　０３－５２７３－４４４６

正　会　員
㈱エコ・クリーン
代表取締役　霜　鳥　純　昭
東京都足立区西新井４－３１－５
電　話　０３－５８７９－２９３４

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
エコシステムジャパン㈱
代表取締役常務　辻　本　健　二
東京都千代田区外神田４－１４－１
電　話　０３－６８４７－７０１０

正　会　員
㈱エコ・ファクトリー
代表取締役　有　田　一　成
東京都稲城市大丸１４３４－３
電　話　０４２－３７９－００１３

正　会　員
エコロジャパン㈱
代表取締役　湯　田　隆　宏
事業部　埼玉県草加市柳島町８３０－１
電　話　０４８－９２９－８２２１

正　会　員
㈱エコワスプラント
代表取締役　浅　尾　洋　和
東京都西多摩郡日の出町平井２２－１０
電　話　０４２－５９７－１１１５

正　会　員
ＮＫリサイクル㈱
代表取締役社長　小　橋　克　史
東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口429－1
電　話　０４２－５５７－７５５８

正　会　員
㈱エバーグリーンライン
代表取締役　比　嘉　良　弘
神奈川県川崎市川崎区貝塚１－１－５
電　話　０４４－２２１－６５７０

正　会　員
㈱遠藤商会
代表取締役　遠　藤　孝　一
東京都小平市小川町２－２０４５－３
電　話　０４２－３４４－５９５７

正　会　員
オーエム通商㈱
代表取締役　岡　村　睦　夫
東京都八王子市小津町１０６－１
電　話　０４２－６５１－２７１７

正　会　員
大久保興業㈱
代表取締役　大　久　保　　憲
東京都府中市南町２－３８－８
電　話　０４２－３５１－３３３３

正　会　員
㈱大空リサイクルセンター
代表取締役　和　田　敏　之
東京都武蔵村山市伊奈平５－４３－６
電　話　０４２－５６０－５７１７

正　会　員
太田商事㈱
代表取締役　太　田　敦　子
東京都府中市四谷５－１３－１４
電　話　０４２－３６８－３８００

正　会　員
オオノ開發㈱
取締役営業部長　朝　日　健　二
東京都千代田区丸の内１－６－１
丸の内センタービルディング4F
電　話　０３－６２０５－７２９１

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
OKACON㈱
代表取締役　岡　彦　吉
東京都墨田区江東橋４－２６－５
東京トラフィック錦糸町ビル南館９階
電　話　０３－３６３５－５６２１

正　会　員　東証スタンダード上場
㈱要興業
代表取締役　木　納　孝
東京都豊島区池袋２－１４－８ 池袋NSビル
電　話　０３－３９８６－５３４１

正　会　員
㈱オネスト
代表取締役　矢　作　将　彦
東京都江東区新木場４－３－２６
電　話　０３－３５２２－５３００

正　会　員
㈱カネダ
代表取締役社長　金　田　隆
東京都大田区本羽田１－２６－１６
電　話　０３－３７４２－２１６１

正　会　員
㈱小野組
代表取締役　松　本　辰　朗
東京都江戸川区東小松川３－２６－７
電　話　０３－３６５４－７３６７

正　会　員
㈱カネテツ
代表取締役　阿　部　正　二
東京都足立区入谷９－５－１０
電　話　０３－３８９９－１１００

正　会　員
鹿島環境エンジニアリング㈱
代表取締役社長　新　川　隆　夫
東京都港区元赤坂１－５－３１ 新井ビル
電　話　０３－３７４６－７６８１

正　会　員
㈱川上商店
代表取締役社長　有　田　一　成
東京都稲城市大丸１４６２－２
電　話　０４２－３７９－００１１

正　会　員
㈱加藤商事
代表取締役　加　藤　慎　次　郎
東京都狛江市東野川２－１４－２
電　話　０３－３４８０－５１１１

正　会　員
㈱カワサキ商会
代表取締役　川　﨑　秀　樹
千葉県市川市日之出２１－１－６４３
電　話　０４７－３６９－６１２６

正　会　員
㈲金井商会
代表取締役　横　山　茂
東京都町田市金井町２５６３
電　話　０４２－７３５－５６７７

正　会　員
㈱環境技研
代表取締役　能　登　祥　文
東京都板橋区板橋４－１２－１７
電　話　０３－３９６２－１７７１

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
㈱環境システムサービス
代表取締役　加　藤　慎　次　郎
東京都八王子市横川町１０７６
電　話　０４２－６２５－８１２０

正　会　員
㈱クマクラ
代表取締役社長　熊　倉　毅
埼玉県新座市畑中３－１－５
電　話　０４８－４７９－０３９１

正　会　員
㈱環境整備
代表取締役　廣　田　健　史
東京都墨田区横川３－９－３
電　話　０３－３６２２－３０８１

正　会　員
クリーンサービス㈱
代表取締役　佐　藤　高　紀
東京都清瀬市旭が丘２－３３６－１
電　話　０４２－４９１－９８８８

正　会　員
㈱環境テコム
代表取締役　高　橋　俊　夫
東京都板橋区仲宿２７－３
電　話　０３－５９４３－２０２０

正　会　員
㈱クレハ環境
代表取締役社長　並　川　昌　弘
福島県いわき市錦町四反田３０番地
電　話　０２４６－６３－１２３１

正　会　員
㈱木下フレンド
代表取締役　木　下　公　次
埼玉県所沢市東所沢和田３－１－１０
電　話　０４－２９４４－３７３７

正　会　員
㈱グローブ産業
代表取締役　砂　本　一　也
東京都足立区小台１－２３－９
電　話　０３－５２８４－８００４

正　会　員
㈲峡南環境サービス
代表取締役　河　澄　秋　芳
山梨県南アルプス市戸田９１６－１８
電　話　０５５－２８４－４５４３

正　会　員
㈱ケイ・エム環境
代表取締役　宮　田　仁　史
埼玉県吉川市大字三輪野江２３００－１
電　話　０４８－９８４－５１０１

正　会　員
㈱グーン
代表取締役会長兼社長　藤　枝　慎　治
神奈川県横浜市金沢区鳥浜町１７－３
電　話　０４５－７６９－２５２６

正　会　員
株式会社 ケイズ
代表取締役　小　林　真　二
東京都昭島市田中町３－１０－７
電　話　０４２－５１９－５２２２

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
株式会社 敬隣舎
代表取締役社長　鈴　木　允　晴
東京都板橋区小茂根４－２－１
電　話　０３－３９５８－０５０１

正　会　員
㈱工　運
代表取締役　高　橋　雄　一
東京都大田区矢口１－２５－１６
電　話　０３－３７５９－７２１１

正　会　員
㈱コーエイクリーン
代表取締役　渡　部　潤　也
埼玉県八潮市木曽根５４６－１
電　話　０４８－９９４－１１５３

正　会　員
㈱光洲産業
代表取締役社長　光　田　興　熙
神奈川県川崎市高津区久地４－１０－１１
電　話　０４４－８２２－０７９５

正　会　員
甲陽興産㈱
代表取締役　北　角　治　太
東京都千代田区内神田２－１１－６
喜助内神田ビル７F
電　話　０３－６２０６－０５３３

正　会　員
コスモ理研㈱
代表取締役　山　内　一　真
東京都台東区柳橋１－１４－６
電　話　０３－５８２０－１２２９

正　会　員
小林運輸㈱
代表取締役社長　木　内　一　宏
埼玉県戸田市新曽南３－８－８
電　話　０４８－４４５－９８１１

正　会　員
㈱こばやし産業
代表取締役　小　林　大　丈
埼玉県朝霞市上内間木３１７－５
電　話　０４８－４５６－１１５１

正　会　員
㈱駒　形
代表取締役　黛　　亙
東京都江戸川区南篠崎町３－２－４逸見ビル201
電　話　０３－６６３８－３３１３

正　会　員
㈱小見山商事
代表取締役　小　見　山　銀　蔵
埼玉県狭山市広瀬台２－７－３
電　話　０４－２９５３－８８４１

正　会　員
㈲権田商事
代表取締役　権　田　秀　之
東京都大田区羽田旭町１－１６
電　話　０３－３７４５－３０８３

正　会　員
栄運輸㈱
代表取締役　鈴　木　尚　紀
東京都葛飾区水元１－２２－５６
電　話　０３－３６０９－２８４０

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
栄鉄鋼商事㈱
代表取締役　江　井　　弘
東京都足立区梅島２－１８－５
電　話　０３－３８８７－０７５０

正　会　員
㈱完山金属
代表取締役　完　山　一　範
東京都八王子市館町４６８－２
電　話　０４２－６６１－４４０８

正　会　員
三光㈱
代表取締役社長　三　輪　昌　輝
鳥取県境港市昭和町５－１７
電　話　０８５９－４４－５３６７

正　会　員
三東運輸㈱
代表取締役　田　口　裕　康
東京都江戸川区篠崎町３－１２－６
電　話　０３－３６７０－３１０１

正　会　員
㈱ジーエムエス
代表取締役　増　井　　豪
東京都千代田区有楽町２－２－１
X－PRESS有楽町１１F
電　話　０３－６２８１－４８７７

正　会　員
㈱ＪＲＳ
代表取締役　鷹　取　　賢
東京都昭島市大神町４－１１５２
電　話　０４２－５４６－２１０１

正　会　員
㈱ＪＲ東日本環境アクセス
代表取締役社長　向　山　路　一
東京都台東区東上野３－４－１２
電　話　０３－３８３６－１５５１

正　会　員
ＪＸ金属髙商㈱
代表取締役社長　齋　藤　昭　夫
東京都中央区日本橋３－２－５
電　話　０３－６４３３－６９００

正　会　員
Ｊ＆Ｔ環境㈱
代表取締役　露　口　哲　男
川崎本社　神奈川県川崎市幸区堀川町５８０
ソリッドスクエア東館９Ｆ
電　話　０４４－３３０－９４８０

正　会　員
シグマテック 株式会社
代表取締役　深　江　伯　史
東京都中央区日本橋富沢町５－４
電　話　０３－５６５１－２２０１

正　会　員
品川運輸㈱
代表取締役　毛　塚　久　恵
東京都品川区東大井２－１－８
電　話　０３－３７６１－０１６５

正　会　員
ジャパンウェイスト㈱
代表取締役社長　中　西　広　幸
東京都中央区日本橋茅場町２－１２－１０
PMO EX日本橋茅場町8F
電　話　０３－６６６１－２３２７

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
㈱ 首都圏環境美化センター
代表取締役　斉　京　由　勝
東京都足立区入谷９－２１－１９
電　話　０３－３８５６－８１４４

正　会　員
㈱ 新東京開発
代表取締役　林　伸　孝
千葉県松戸市常盤平陣屋前３－２１
電　話　０４７－３８３－５３５３

正　会　員
㈱ ショーモン
代表取締役　松　澤　敏　也
埼玉県久喜市河原井町２７番地
電　話　０４８０－３１－７７３０

正　会　員
㈱ 伸和運輸
代表取締役　宮　﨑　琢　朗
東京都世田谷区船橋７－２０－１４
電　話　０３－３４８２－８４７５

正　会　員
㈱ 昌和プラント
代表取締役　廣　木　直　江
本　　社　神奈川県横浜市中区万代町２－３－１
電　　話　０４５－６８１－９０２７
厚木工場　神奈川県愛甲郡愛川町中津６９５７
電　　話　０４６－２８５－８１１１

正　会　員
新和環境㈱
代表取締役　梁　川　哲
東京都新宿区西早稲田２－２１－１２
電　話　０３－３２０８－５０４７

正　会　員
白井運輸㈱
代表取締役　白　井　護
東京都足立区鹿浜３－２８－７
電　話　０３－３８９７－１３３１

正　会　員
㈱ スイーピングサービス
代表取締役　田　邉　昌　志
東京都あきる野市瀬戸岡３６０－１
電　話　０４２－５９７－６１１１

正　会　員
㈱ シンシア
代表取締役社長　増　田　洋　介
東京都品川区南大井６－２６－３
大森ベルポートＤ館6F
電　話　０３－３７６４－５３００

正　会　員
Ｓ．Ｐ．Ｅ．Ｃ．㈱　エコレ城南島
取締役工場長　佐　々　木　浩　志
東京都大田区城南島３－２－８
電　話　０３－５７５５－９８８４

正　会　員
㈲ 新城重機
代表取締役　新　城　敬　太
東京都武蔵村山市伊奈平１－５９－１
電　話　０４２－５２０－７２４５

正　会　員
㈱ 関商店
代表取締役　吉　田　潤
埼玉県久喜市久喜中央１－１０－１１
電　話　０４８０－２３－５５５８

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
㈱ 全公研
代表取締役　松　田　智　之
東京都江東区北砂１－６－１
電　話　０３－３６４９－８０６１

正　会　員
第三東海㈱
代表取締役　仙　頭　宏　史
東京都千代田区神田神保町１－２
電　話　０３－３２９２－０１３５

正　会　員
仙台環境開発 株式会社
代表取締役　櫻　井　慶
（東京営業所）
東京都千代田区平河町２－４－５ VORT平河町Ⅱ 2F
電　話　０３－５２１５－５００４

正　会　員
㈱ 大東運輸
代表取締役　小　林　剛　顕
東京都江東区新木場２－１４－１
電　話　０３－３５２１－７３１１

正　会　員
総合商社 桂商店㈱
代表取締役　桂　義　雄
千葉県千葉市若葉区大宮町１９５９－２
電　話　０４３－３０９－４１１１

正　会　員
㈱ 高木造園
代表取締役　高　木　久　隆
東京都あきる野市野辺３９９－７
電　話　０４２－５５９－３８０３

正　会　員
㈱ 第一建設
代表取締役　松　本　秀　昭
東京都福生市大字熊川１４３８－１０
電　話　０４２－５５２－３０２１

正　会　員
㈲ 髙　興
代表取締役　石　川　市　郎
東京都八王子市高月町５１５
電　話　０４２－６９１－１９１９

正　会　員
第一輸送㈱
代表取締役　篠　原　周　治
東京都足立区加賀１－１２－９
電　話　０３－３８５５－０１８８

正　会　員
鷹取建材㈱
代表取締役　鷹　取　賢
神奈川県相模原市緑区川尻５２１８－１
電　話　０４２－７８３－０７７３

正　会　員
大興運輸倉庫㈱
代表取締役　片　山　饒
東京都江東区枝川２－７－８
電　話　０３－５６５３－０７００

正　会　員
㈱ 貴　藤
代表取締役　池ノ谷　新　吾
東京都昭島市拝島町３－１－３
電　話　０４２－５４５－６０２７

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
㈱ タケエイ
代表取締役社長　阿　部　光　男
東京都港区芝公園２－４－１　Ａ－１０Ｆ
電　話　０３－６３６１－６８３０

正　会　員
㈱ ティプロ　静岡本社
代表取締役　土　屋　将　寿
静岡県静岡市葵区古庄２－１８－１３
電　話　０５４－２０７－９６１５

正　会　員
㈱ 調布清掃
代表取締役　梶　原　良　介
東京都調布市深大寺東町５－８－１
電　話　０４２－４８５－１１６６

正　会　員
㈱ ＴＯＡシブル
代表取締役　安　池　慎　一　郎
千葉県八千代市上高野１７２８－５
電　話　０４７－４８５－７１８９

正　会　員
千代田鉱砕 ㈱
代表取締役　伊　藤　公　一
千葉県柏市風早２－３－６
電　話　０４－７１９２－２１５０

正　会　員
東京医療クリーン事業協同組合
代表理事　宮　田　喜　代　美
東京都豊島区西池袋２－２９－１９
電　話　０３－３５９０－８０００

正　会　員
都築鋼産 ㈱
代表取締役社長　都　築　　基
東京都足立区新田１－１０－１９
電　話　０３－３９１４－８５１１

正　会　員
東京エコリサイクル ㈱
代表取締役社長　志　田　勝　巳
東京都江東区若洲２－８－２１
電　話　０３－３５２２－６６９０

正　会　員
ＴＭＬ ㈱
代表取締役　青　山　貴　好
東京都大田区京浜島２－１９－１０
電　話　０３－３７９０－２８８２

正　会　員
㈱ 東京クリアセンター
代表取締役社長　熊　木　　浩
東京都港区赤坂２－５－４ 赤坂室町ビル７Ｆ
電　話　０３－４２３２－５６７１

正　会　員
ティー・ビー・ロジスティックス ㈱
代表取締役　相　川　和　政
埼玉県八潮市大字浮塚１００番地
電　話　０４８－９９４－１３１１

正　会　員
東京産資源 ㈱
代表取締役　塩　入　春　孝
東京都江東区東砂５－１４－１７
電　話　０３－３６４５－６１３１

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
公益財団法人 東京都環境公社
理事長　小　川　謙　司
東京都墨田区江東橋４－２６－５
東京トラフィック錦糸町ビル８Ｆ
電　話　０３－３６４４－２１８９

正　会　員
㈱ 東武クリエイティブ
代表取締役社長　垣　入　淳　樹
東京都足立区西伊興１－２－８
電　話　０３－３８９９－２２５１

正　会　員
東京トリムテック ㈱
代表取締役　最　上　　修
東京都品川区西五反田１－２５－１
電　話　０３－３４９２－３４３０

正　会　員
東武清掃 ㈱
代表取締役社長　津　島　英　世
東京都足立区西伊興１－６－２８
電　話　０３－３８９９－２００４

正　会　員
㈲ 東京斫り
代表取締役　上　杉　大　樹
東京都江戸川区松江４－１７－３－３０７
電　話　０３－３６５２－５０４２

正　会　員
㈱ トーホークリーン
代表取締役　前　川　佑　子
東京都渋谷区東１－５－４
電　話　０８０－０８００－３９２９

正　会　員
東京パワーテクノロジー ㈱
代表取締役社長　塩　川　和　幸
東京都江東区豊洲５－５－１３
電　話　０３－６３７２－７０００

正　会　員
㈱ トキワ薬品化工
代表取締役　伊　丹　重　貴
神奈川県横浜市旭区上川井町３７６
電　話　０４５－９２１－３２６４

正　会　員
東京レンダリング協同組合
代表理事　徳　田　昌　彦
東京都墨田区東墨田１－９－１
電　話　０３－３６１９－５５１６

正　会　員
㈱ トベ商事
代表取締役　戸　部　智　史
東京都北区王子５－１０－１
電　話　０３－５９０２－３２０２

正　会　員
東都運業 株式会社
代表取締役　酒　井　大　作
東京都葛飾区奥戸３－２３－２８
電　話　０３－３６９６－４６１１

正　会　員
㈱ トリデ
代表取締役　佐　藤　英　生
本　社　東京都府中市西原町４－１７－５３
事務所　東京都国立市泉３－２８－１
電　話　０４２－５７６－９７５０

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
内藤産業㈱
代表取締役　内　藤　信　也
東京都町田市小野路町２３２４－１
電　話　０４２－７３４－０５３８

正　会　員
㈱ナンセイ
代表取締役　稲　福　　誠
東京都江戸川区中葛西５－２０－７
電　話　０３－３８７７－５０２６

正　会　員
㈲長岡商店
代表取締役　長　岡　秀　明
本　社　東京都八王子市明神町２－１０－１５
電　話　０４２－６４２－６３７３
上川営業所　電話　０４２－６５４－０５６４

正　会　員
㈱西商店
代表取締役　西　　義　雄
東京都大田区池上６－２８－５
電　話　０３－３７５４－２４４１

正　会　員
中野運輸㈱
代表取締役　松　原　美　紀　子
東京都中野区丸山１－２－１
電　話　０３－３３８７－４３５６

正　会　員
西東京医師協同組合
理　事　長　子　田　純　夫
東京都立川市柴崎町３－１６－１１
電　話　０４２－５２４－６４１１

正　会　員
㈱中　村
代表取締役　戸　村　勝　秀
東京都杉並区上高井戸３－２－２３
電　話　０３－３３０２－５１５６

正　会　員
㈱西東京リサイクルセンター
代表取締役　植　田　徹　也
東京都羽村市緑ヶ丘３－３－３
電　話　０４２－５３３－６６４０

正　会　員
中村産業㈱
代表取締役社長　中　村　英　生
東京都江東区豊洲６－６－６
電　話　０３－６６３３－０１８９

正　会　員
㈱西日本アチューマットクリーン
代表取締役　藏　本　　悟
岡山県岡山市中区藤原５０－１
電　話　０８６－２７２－８０４２

正　会　員
那須興産㈱
代表取締役　柴　　健　一
東京都板橋区高島平２－２－９
電　話　０３－５９７０－３８２５

正　会　員
日栄産業㈱
代表取締役社長　吉　本　花　子
東京都大田区京浜島３－５－２
電　話　０３－３７９０－７４００

謹賀新年

2024年　元旦

正　会　員
日興サービス㈱
代表取締役　山　口　　徹
埼玉県戸田市笹目北町１４－１９
電　話　０４８－４２１－９４３１

正　会　員
日本衛生㈱
取締役社長　澤　谷　勇　一
東京都足立区入谷９－３０－１０
電　話　０３－３８５３－６０６１

正　会　員
日盛運輸㈱
代表取締役社長　宇　田　川　幸　一
東京都江戸川区篠崎町３－１－１１
電　話　０３－３６７８－１１００

正　会　員
日本環境㈱
東京都港区芝３－１５－１５
櫻井ビル８Ｆ

正　会　員
㈱日成ストマック・トーキョー
代表取締役　畠　山　孟　賛
東京都江戸川区東葛西３－１７－１５
電　話　０３－５６７６－０５５５

正　会　員
㈱日本協力
代表取締役会長　渡　辺　省　吾
代表取締役社長　川　上　和　章
東京都江東区潮見１－６－２
電　話　０３－３６４０－４７７７

正　会　員
日晴ビジネス㈱
代表取締役　永　井　　剛
東京都文京区本郷５－２４－３
電　話　０３－５８００－２６２６

正　会　員
日本サニテイション㈱
東京都江東区新木場４－１－３０
電　話　０３－５５３４－３５２１

正　会　員
日曹金属化学㈱
代表取締役社長　赤　川　彰　一
東京都中央区日本橋兜町２１－７
電　話　０３－４５８６－７８９２

正　会　員
㈱日本シューター
代表取締役　石　山　敏　彦
東京都千代田区神田駿河台２－９
電　話　０３－３５１８－８６７０

正　会　員
日東消毒㈱
代表取締役　弓　座　一　臣
千葉県木更津市八幡台２－２－１
電　話　０４３８－３７－３５９５

正　会　員
日本設備保全㈱
代表取締役　前　田　隆　幸
東京都稲城市坂浜１０２－５
電　話　０４２－３１３－８３００

謹賀新年

2024年　元旦

正会員
日本トリート㈱
代表取締役　臼井淳一郎
東京都世田谷区上馬3－7－8
電話03－3424－2020

正会員
㈲原島組
代表取締役　原島和敏
東京都昭島市中神町1－14－6
電話042－541－7875

正会員
日本メディカル・ウェイスト・マネジメント㈱
代表取締役　金原暁治
東京都港区芝1－15－14
電話03－3798－4703

正会員
㈲ビー・アイ・エル
代表取締役　武藤廣見
東京都北区東田端2－8－7
電話03－3893－7480

正会員
野村興産㈱
代表取締役社長　藤原悌
東京都中央区日本橋堀留町2－1－3
ヤマトインターナショナル日本橋ビル
電話03－5695－2530

正会員
株式会社 日向興発
代表取締役　前田弘貴
東京都新宿区西新宿4－13－6
電話03－5333－0283

正会員
バイオエナジー㈱
代表取締役　盛下学
東京都中央区新川2－5－2
電話03－5540－4225

正会員
㈱福井商店
代表取締役　赤羽敏宏
東京都千代田区内神田2－4－2
電話03－3252－3896

正会員
㈲八栄興業
代表取締役　鵜家きよ
東京都西東京市芝久保町5－4－9
電話042－465－5525

正会員
富士建興㈱
代表取締役　橋場泰雄
東京都千代田区九段北1－14－13
電話03－3265－2351

正会員
㈱浜田
常務取締役東京支社長　小林政彦
東京都新宿区四谷4－32－4
四谷4丁目32番4号ビル3F
電話03－6459－1352

正会員
㈱フジ・トレーディング
代表取締役　大羽敬子
東京都東大和市向原4－29－9
電話042－565－7722

謹賀新年

2024年　元旦

正会員
㈱藤原土建
代表取締役　丸島寛範
東京都狛江市元和泉3－6－13
電話03－3488－5159

正会員
㈱マスヒロ
代表取締役　桝満和洋
埼玉県三郷市早稲田1－14－18
電話048－957－7749

正会員
㈲古川新興
代表取締役　古川幸司
東京都府中市是政3－65－1
電話042－365－2231

正会員
マスヒロ環境㈱
代表取締役　増田博之
東京都西多摩郡瑞穂町長岡2－5－2
電話042－556－0308

正会員
㈲フロンティア
代表取締役　小森康一
東京都足立区辰沼2－17－7
電話03－5613－8251

正会員
㈱増渕商店
代表取締役　増渕千人
東京都板橋区高島平7－4－3　2F
電話03－5968－4077

正会員
㈱ペエックス
代表取締役　伊藤伸夫
東京都稲城市大丸1481－3
電話042－378－2121

正会員
松田産業㈱
代表取締役社長　松田芳明
東京都新宿区西新宿1－26－2
電話03－5381－0001

正会員
ベル・テック㈱
代表取締役　鈴木照明
東京都江戸川区中央3－6－14 三家第一ビル1F
電話03－5879－5050

正会員
㈲松村組
代表取締役　松村竜二
東京都府中市日新町5－3－3
電話042－362－6700

正会員
㈱まごころ清掃社
代表取締役　高野正人
東京都八王子市長房町126－2
電話（フリーダイヤル）
0120－538－056

正会員
松村ダスト㈲
代表取締役　松村博文
東京都あきる野市舘谷251－1
電話042－596－4959

謹賀新年

2024年　元旦

正会員
都清掃㈱
常務取締役　吉野猛彦
東京都足立区佐野1－28－10
電話03－3606－0135

正会員
山大物産㈱
代表取締役　山下逸郎
埼玉県新座市大和田3－10－26
電話048－481－3845

正会員
村上工業㈱
代表取締役　村上隆秀
東京都国立市西2－20－6
電話042－573－1395

正会員
山田設備工業㈱
代表取締役　山田有司
東京都日野市大坂上2－2－7
電話042－584－0879

正会員
㈱明和運輸
代表取締役　植田毅
東京都足立区宮城1－6－12
電話03－3911－6126

正会員
㈲屋満登興業
代表取締役　佐藤圭一
東京都三鷹市野崎2－8－1
クラウンビル201
電話0422－30－9185

正会員
㈱山一商事
代表取締役　松本大輔
東京都港区六本木7－15－14
電話03－3423－8113

正会員
㈱ヨシモリ
代表取締役　高橋安繁
東京都足立区関原1－12－2
電話03－3848－2345

正会員
山下産業㈱
代表取締役　山下栄雄
山梨県北杜市須玉町若神子5280
電話0551－42－4848

正会員
㈱ヨドセイ
代表取締役　青柳文夫
東京都豊島区東池袋2－38－20
電話03－3985－8801

正会員
㈱ヤマゼン
代表取締役　山﨑公信
三重県伊賀市治田字枡ノ木2441－1
電話0595－39－9410

正会員
㈱リスト
代表取締役　遠藤重雄
東京都国立市矢川3－23－11
電話042－572－1300

謹賀新年

2024年　元旦

正会員
㈱リノグレス
代表取締役　木村清貴
東京都八王子市大谷町481
電話042－660－0515

賛助会員
㈱環境と開発
代表取締役　田邉陽介
東京都台東区上野5－15－14　9F
電話03－6661－7174

正会員
㈱ワイエムエコフューチャー
代表取締役　加瀬博章
埼玉県草加市青柳2－7－45
電話048－933－3004

賛助会員
行政書士法人
産廃コンサルティング総合事務所
代表特定行政書士　北村亨
代表特定行政書士　河野君江
千葉県市川市市川1－22－10
電話047－711－0847

正会員
㈱和光サービス
代表取締役　山田邦光
千葉県白井市河原子327番地
電話047－491－5305

賛助会員
行政書士　笹島総合事務所
代表特定行政書士　笹島潤也
東京都北区田端6－4－8
電話03－5832－4670

賛助会員
社会保険労務士・行政書士 今井まさみ事務所
代表　今井正美
東京都足立区西新井3－5－1－310
電話03－6807－1958

賛助会員
サナート行政書士事務所
代表特定行政書士　下方和美
東京都千代田区霞が関3－7－1
霞が関東急ビル202
電話03－6550－9497

賛助会員
AIG損害保険㈱
東京第一プロチャネル営業部
部長　丹直弘
東京都港区虎ノ門4－3－20 神谷町MTビル15F
電話03－5401－3650

賛助会員
㈱JEMS
代表取締役　須永裕毅
茨城県つくば市東新井31－13
電話029－863－7215

賛助会員
株式会社 環境管理センター
上席執行役員
営業本部長　堀宏一郎
東京都千代田区内神田2－14－4
内神田ビルディング3F
電話03－6206－4321

賛助会員
㈱ゼスト
代表取締役　白石恭隆
東京都中央区銀座7－12－4 友野本社ビル8F
電話03－6277－3477

謹賀新年

2024年　元旦

辰

賛助会員
全国オイルリサイクル協同組合
理事長　安池慎一郎
東京都中央区京橋２－６－６
電話０３－５２５０－５０８６

賛助会員
トライシクル㈱
代表取締役　福田　隆
東京都品川区南大井６－２６－３
大森ベルポートＤ館８Ｆ
電話０３－６４１０－８７８０

賛助会員
㈱タウ　横浜支店
横浜支店長　御園生啓寿
神奈川県横浜市中区相生町６－１１３
オーク桜木町ビル10Ｆ
電話０４５－２１０－０２１５

賛助会員
㈱ドラＥＶＥＲ
代表取締役　岡野照彦
東京都港区西新橋３－１５－１２
西新橋ＪＫビル２Ｆ
電話０３－６３７１－４１９２

賛助会員
㈱高見沢分析化学研究所
代表取締役　佐藤英樹
埼玉県さいたま市桜区西堀６－４－２８
電話０４８－８６１－０２８８

賛助会員
内藤環境管理㈱
代表取締役社長　内藤　岳
埼玉県さいたま市南区大字太田窪2051－２
電話０４８－８８７－２５９０

賛助会員
㈱テクノリンクス
代表取締役　大木英史
神奈川県平塚市西八幡４－７－１２
電話０４６３－６３－４２８２

賛助会員
日建リース工業㈱ 物流東京支店
支店長　鈴木伸幸
東京都江東区新砂１－６－３５
ＪＭＦビル東陽町０２ ３Ｆ
電話０３－４３３２－１３５７

賛助会員
一般社団法人 東京建物解体協会
会長　藤井　誠
東京都中央区八丁堀３－１０－１ 章山堂ビル４０１
電話０３－３５５１－１０７５

賛助会員
日立建機日本㈱
東京支店支店長　永野大輔
埼玉県草加市弁天５－３３－２５
電話０４８－９３５－７３４１

賛助会員
ＤＯＷＡエコシステム㈱
取締役ウエステック事業部長　中村達也
東京都千代田区外神田４－１４－１
秋葉原ＵＤＸ２２Ｆ
電話０３－６８４７－１２３１

賛助会員
㈱御池鐵工所
代表取締役　小林秀匡
広島県福山市神辺町川南３９６－２
電話０８４－９６３－５５００